

団体名	やちよ子どもネットワーク
エリア	八千代市
事業・活動名	多世代交流イベント(ヤルシェ！2025)
事業内容	八千代市にある子ども食堂や福祉団体の連携が弱いため、情報や物資の共有が不十分、支援を必要としている家庭は情報が各所に分散されているため情報を得にくい、それらの課題解決にむけて情報の統合発信を目指している。2025年5月に多世代交流イベント(ヤルシェ！2025)を開催し、各団体の活動紹介ブースや、音楽演奏やワークショップなど、対面コミュニケーションを育むことのできる場を企画。 来場者には多様な団体の社会活動を周知し、地域への関心を高め、社会参加の意欲を引き出すことを目的としている。
助成金の使途	会場費 30,000 円 印刷製本費 19,980 円 諸謝金① 75,000 円 ② 130,000 円 会議費 30,000 円 交通費 15,000 円
訪問レポート	ヤルシェ！2025 日程 2025年5月5日 会場 八千代広域公園にて 10:00から16:00 主催:やちよ子どもネットワーク 共催:八千代市地域復興財団 後援:八千代市、八千代教育委員会 応援:生活クラブ生協(千葉) エッコロ福祉助成 やちよ子どもネットワークは「こどもまんなか」の地域づくりを目指す団体で、普段は宅配型フードパントリーでの食支援や旧米本小学校を活用した子どもの居場所づくり、情報や物資の環境を促すネットワークの構築、多世代交流促進イベント企画・運営を行っている団体です。 会場ではフードドライブを設置し、呼びかけをしていました。 「地域全体で子どもを見守り育てていく」という目標から、関わっている大人の年齢も団体もさまざまでした。八千代市 PTA 連絡協議会の元会長や地域で活動されているご年配の方もボランティア・スタッフで参加されていました。八千代市長も挨拶に来場していました。 【ワークショップ】八千代リーダーズクラブで活動している若者が MC をして盛り上げていました。 やちよ子どもネットワークの子ども達によるフリーマーケットや「大きな紙に絵を描こう」や「紙袋でへんしん」ではボランティア・スタッフ、参加者が一緒になって楽しんでいる様子がありました。 学生服のリユースショップ店ではお店の紹介とワークショップを行っていました。 制服のリユースで地域の活性・共生・支援を行っている店舗で月に一度ママたちの交流の場を設けており、 買取販売だけでなく、子ども支援・家計支援など福祉の面を持つ活動に驚きました。 子ども用品や絵本の無料交換会(ぐるり) & オリジナルこいのぼりフラッグ作りは小さな子どもたちが楽しんで作成している様子が見られました。無料交換会では熱心におもちゃなど選んで

いる親子連れがありました。ごみ問題を考えることや物を大切に使う気持ちが芽生える素敵な時間だと思いました。

【物販】原材料にこだわっている米粉のマフィンのお店、安心・安全な素材を使用した焼き菓子のお店

(米粉のマフィン、美味しかったです。)

【企業ブース】生活クラブ千葉、積水ハウス

【スポーツ】YACHIYO FLAGS(地元のチームを応援するきっかけになるイベントだと感じました。)

やちよ子どもネットワーク 代表の廣瀬さんは終始笑顔で皆さんの活動のサポートをしていました。

この日は天気が良くて、芝生の上ではテント持ってこられた方もいらっしゃいました。

八千代市在住ではない方も何人か来場されていました。チラシやインスタをみて来たと言われていました。

地域に関わる様々な団体が各々知ること、そして関わることで何かもっとできることが広がるのでは？

そして子ども達にとって地域とつながることは安心して過ごすことが出来るツールになると改めて感じたイベントでした。

たすけあい委員 竹原久美子

